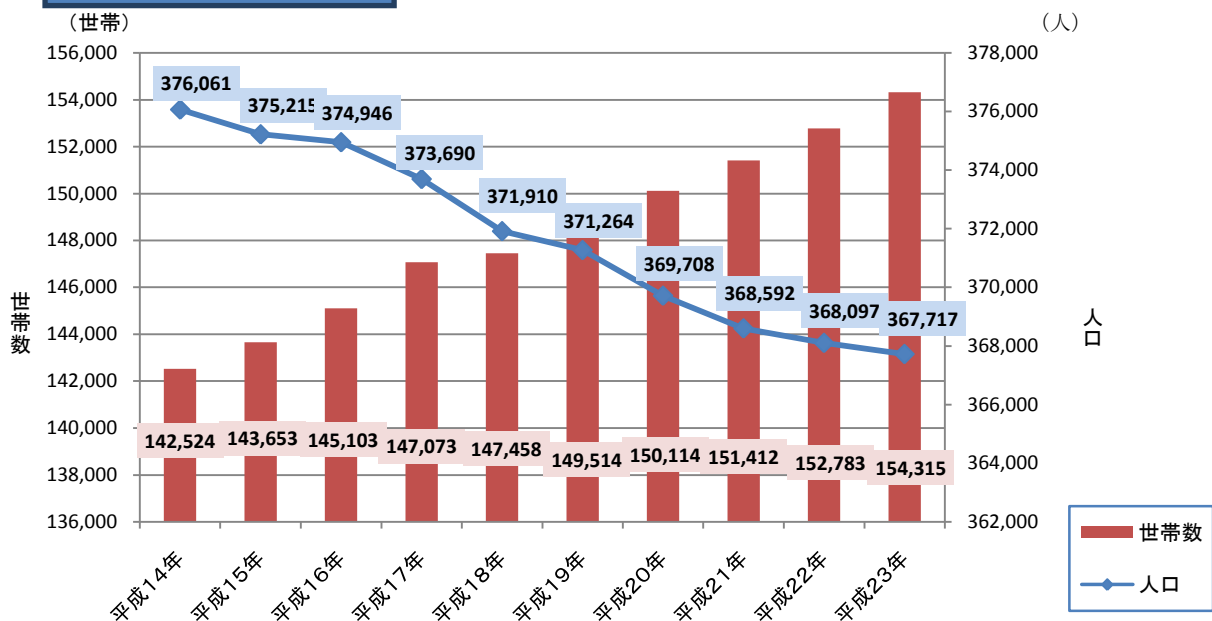


## 第2章 奈良市の10年間の変化と現状

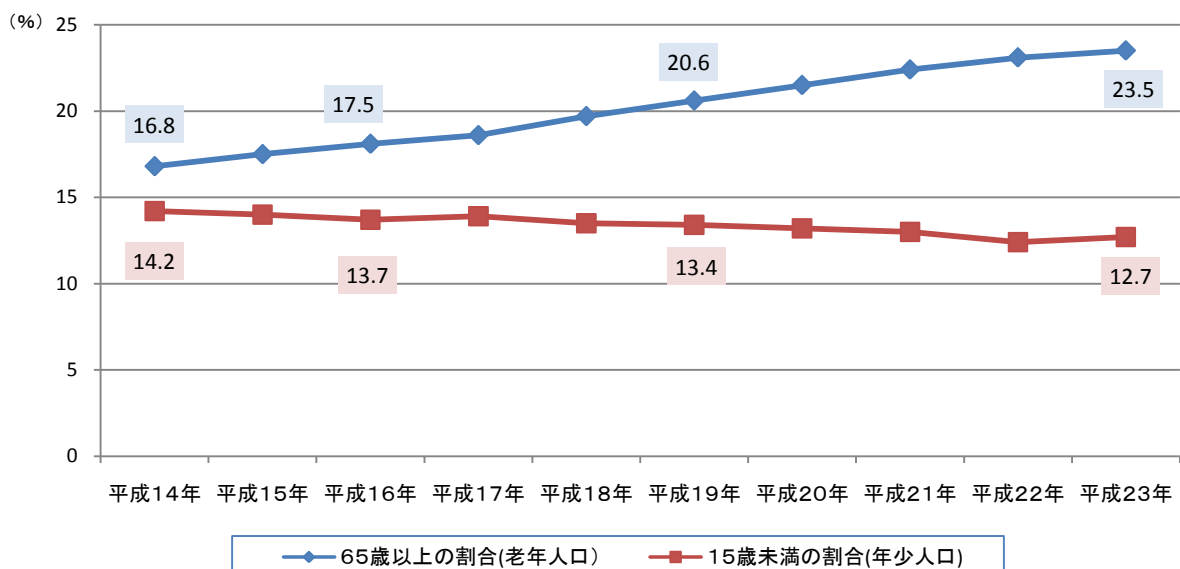
### 1. 人口と世帯数の変化



(住民基本台帳 4月1日現在)

奈良市の人口はこの10年間に年々減少しています。現在は10年前と比べ約1万人少なくなっています。その反面、世帯数は年々増加しており、核家族化が進んでいることがわかります。

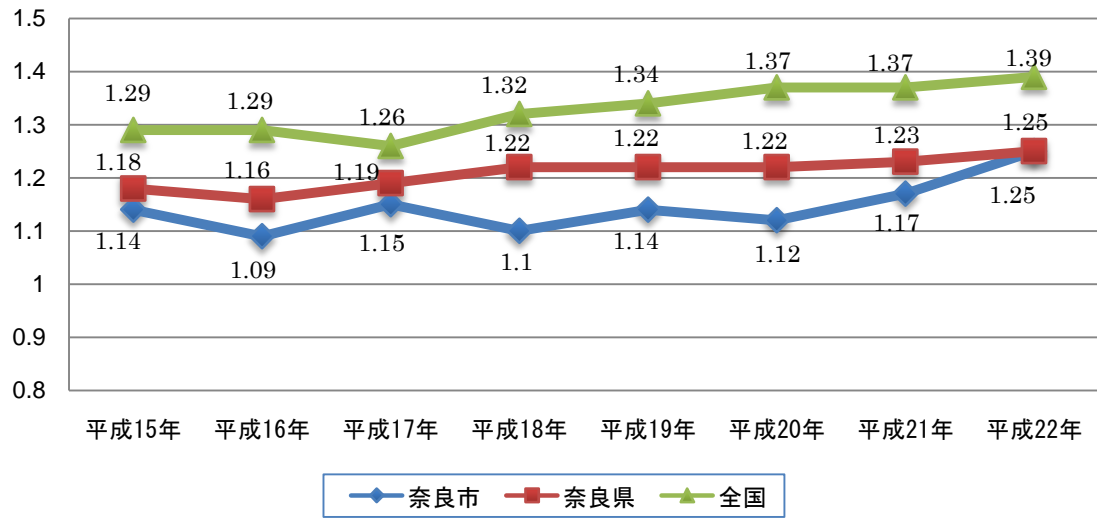
### 2. 年少人口及び老年人口の割合の推移



(住民基本台帳 4月1日現在)

老年人口は年々上昇し、10年間で約1.5倍にもなっています。年少人口はゆるやかながらも減少しており、少子高齢化の傾向がみられます。

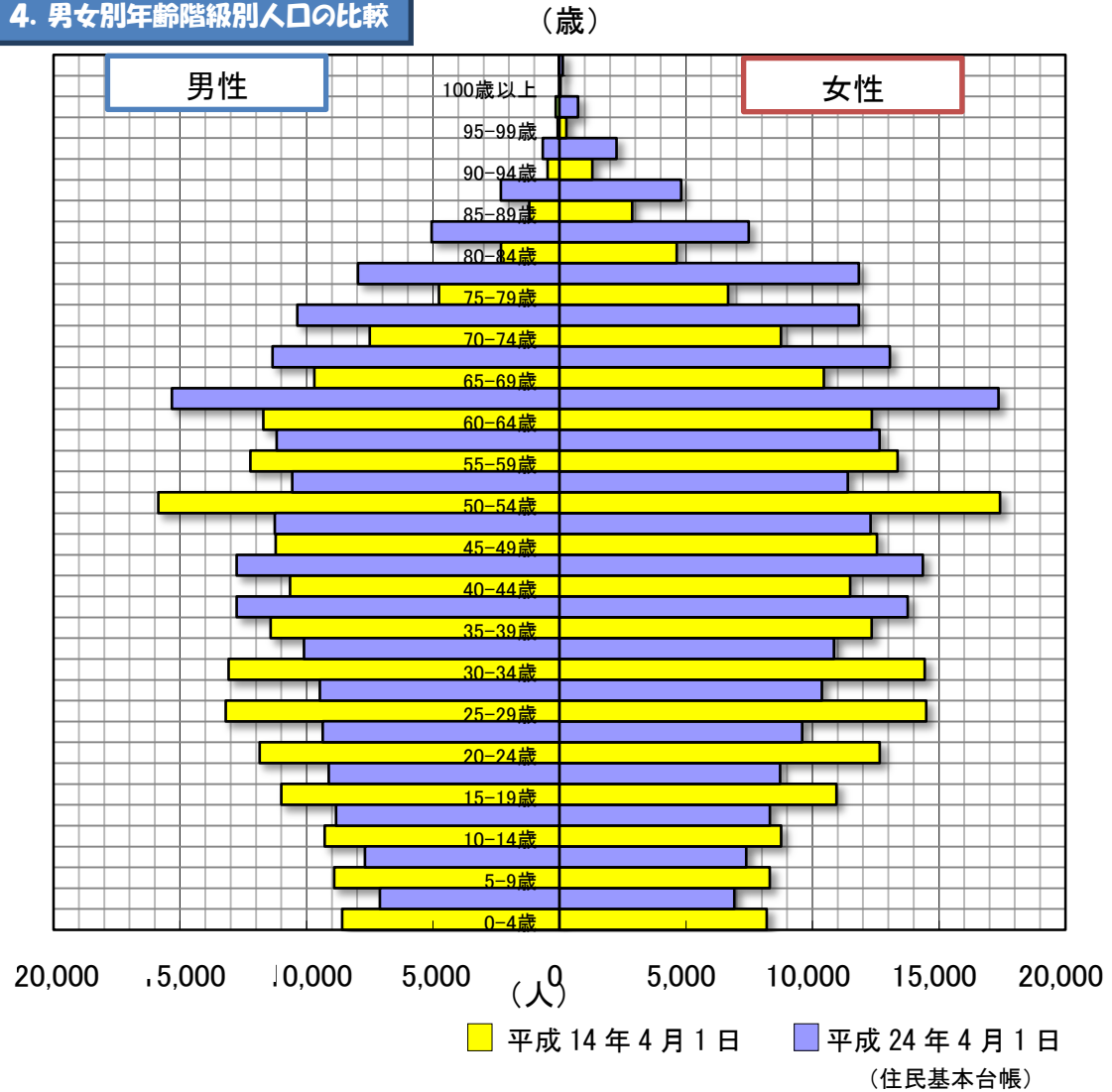
### 3. 合計特殊出生率の推移



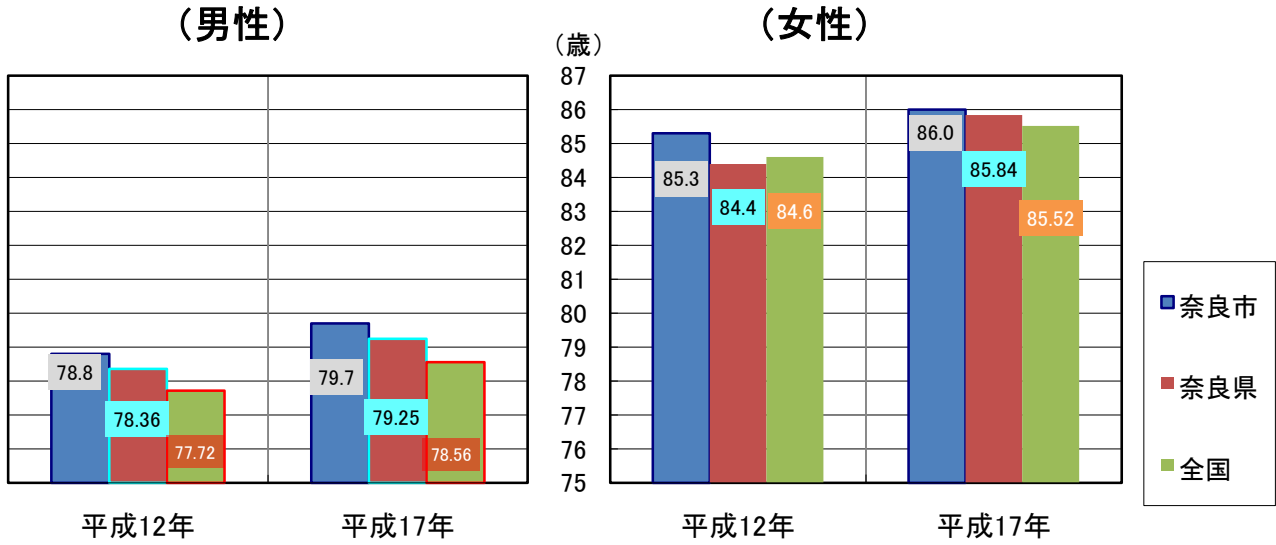
(保健所算出データ)

奈良市の合計特殊出生率は全国や奈良県に比べ低い水準で経過していましたが、平成20年より増加に転じ、平成22年には奈良県と同率となっています。しかし、全国と比較すると0.14低い状態です。

### 4. 男女別年齢階級別人口の比較



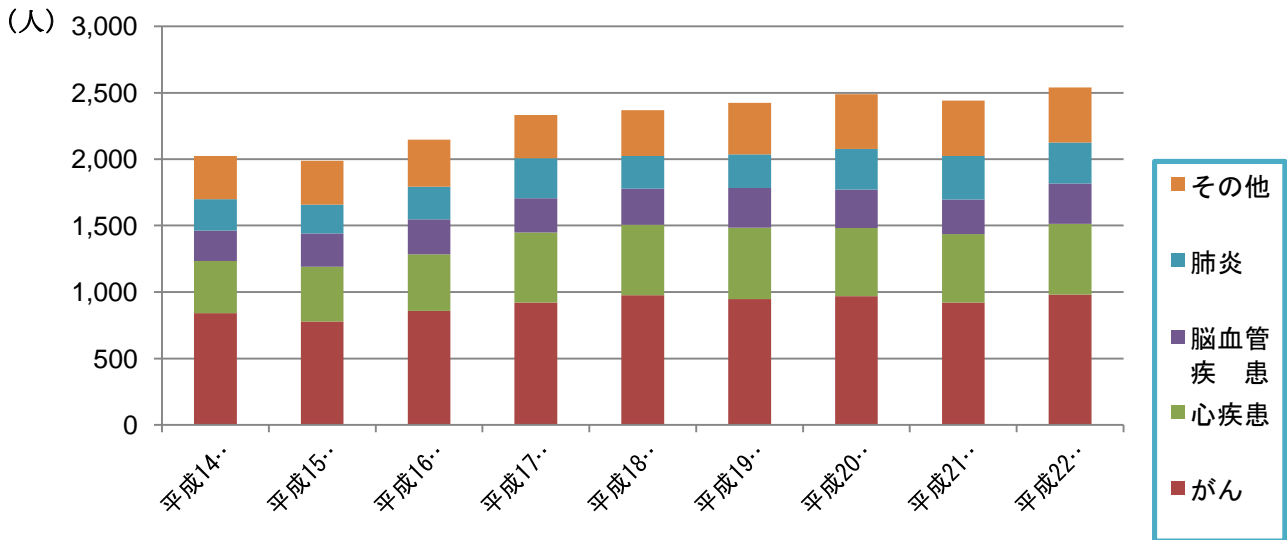
## 5. 平均寿命の比較



(奈良県健康マップ及び厚労省ホームページ 市町村別生命表より)

奈良市の平均寿命は平成12年から平成17年の5年間に、男性で1.2歳、女性で0.7歳高くなっています。また、奈良県・全国と比べて高い水準で推移しています。

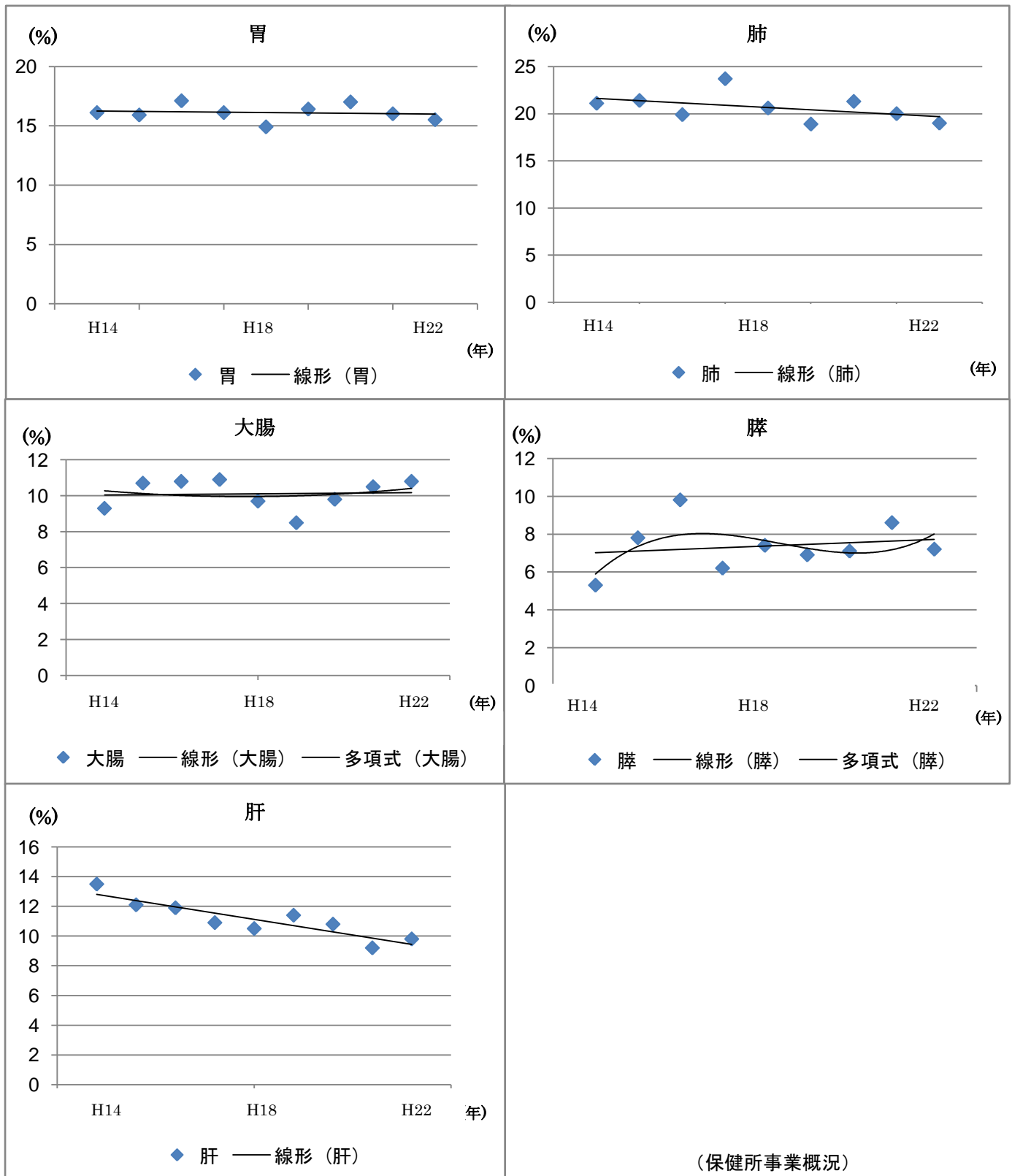
## 6. 死因別死亡数の推移



(保健所事業概況)

死亡数は平成14年は2,023人であったのが、平成22年では2,539人と年間約500人増えています。死因の第1位のがん・第2位の心疾患の順位は変わりませんが、脳血管疾患と肺炎に関しては平成20年から順位が逆転しています。

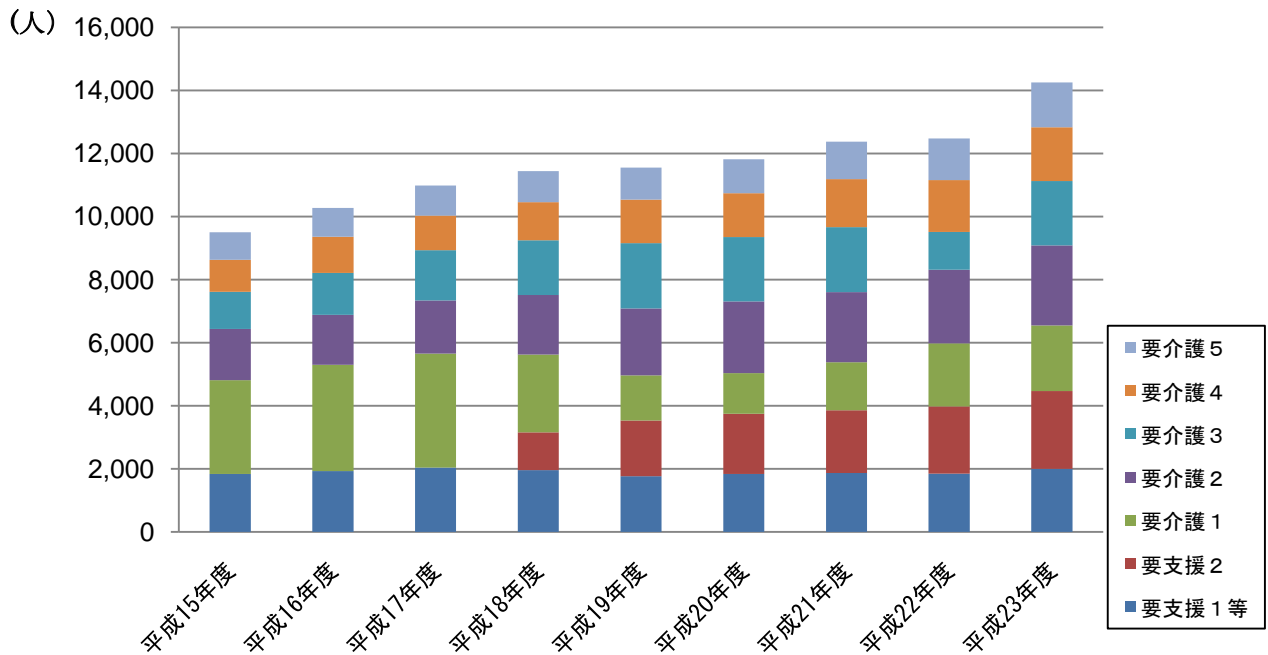
## 7. がん部位別死亡者数の推移



(保健所事業概況)

胃がん、肺がん、大腸がんの死亡割合は横ばい傾向ですが、肝臓がんは減ってきています。膵臓がんはわずかながらに上昇しています。

## 8. 要支援・要介護認定者数の推移

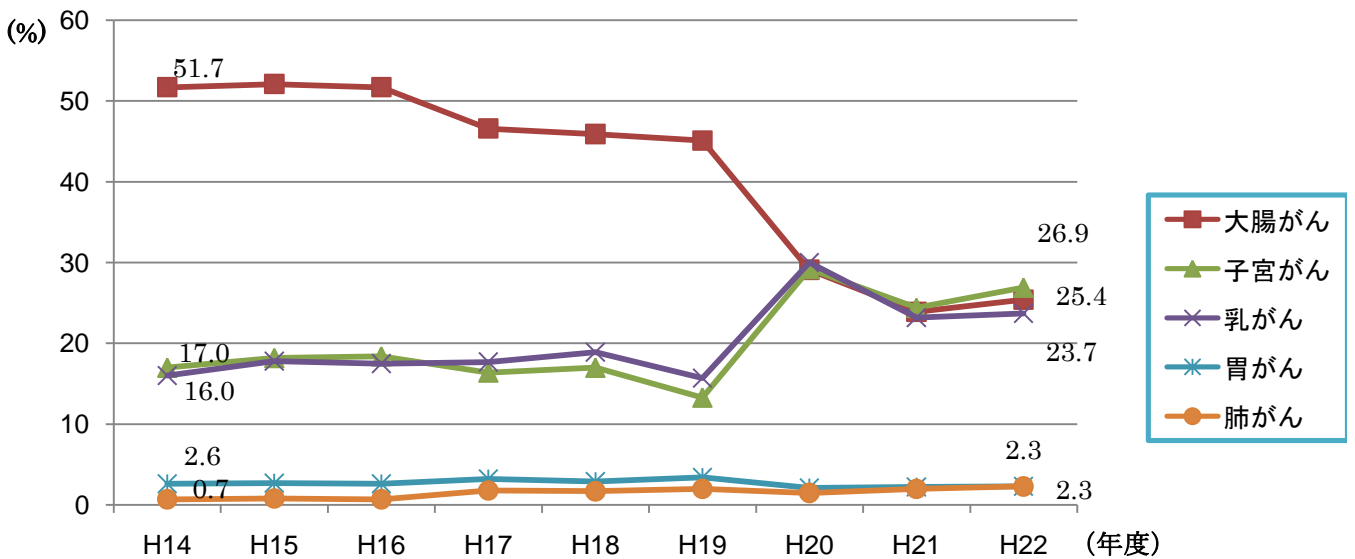


(奈良市老人福祉計画及び第5期介護保険事業計画より抜粋)

※平成18年度から認定区分一部変更

介護の要支援・要介護認定者数は、平成15年度の総数9,501人から平成23年度の総数15,241人と過去8年の間に1.5倍も増えています。

## 9. がん検診受診率の推移

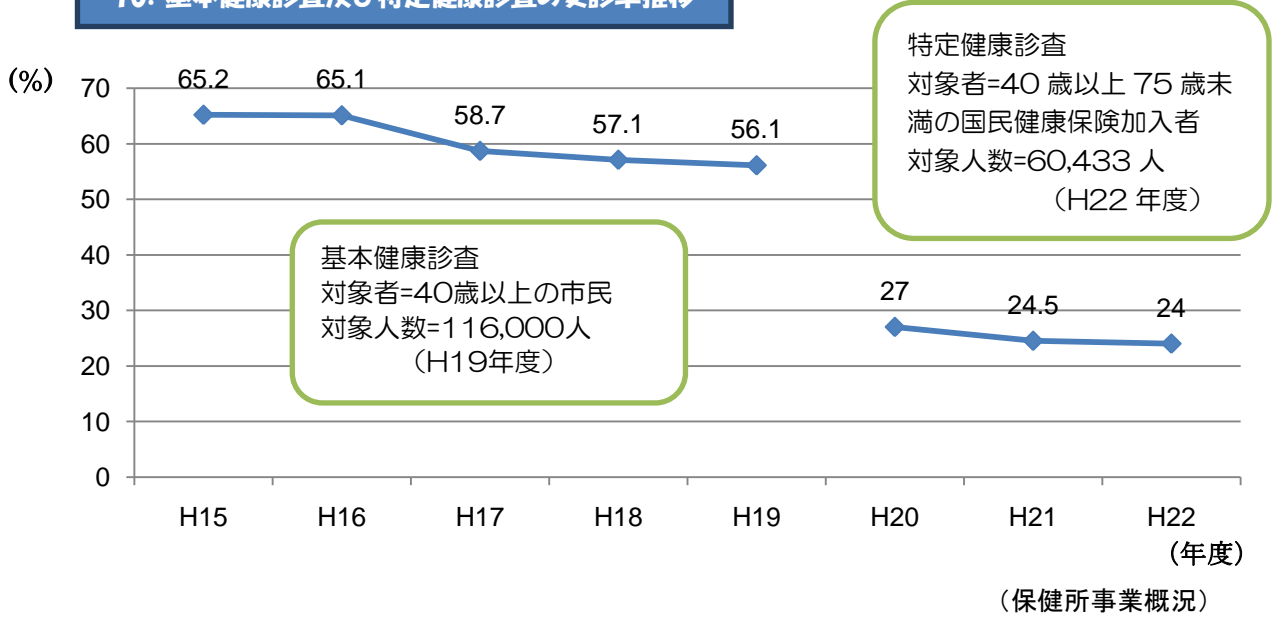


(保健所事業概況)

がん検診受診率の推移をみると、大腸がん検診は平成20年の特定健診開始を境に20%台に低下しています。胃がん・肺がんの集団検診は2%強で推移しています。

子宮がん・乳がん検診は、平成21年度の無料クーポン開始から、対象年代で受診率がやや増加していますが、依然として25%前後にとどまっています。

## 10. 基本健康診査及び特定健康診査の受診率推移



平成20年度より基本健診から特定健診になりました。対象者が異なりますが、それぞれの健診にて受診率は緩やかに低下しています。